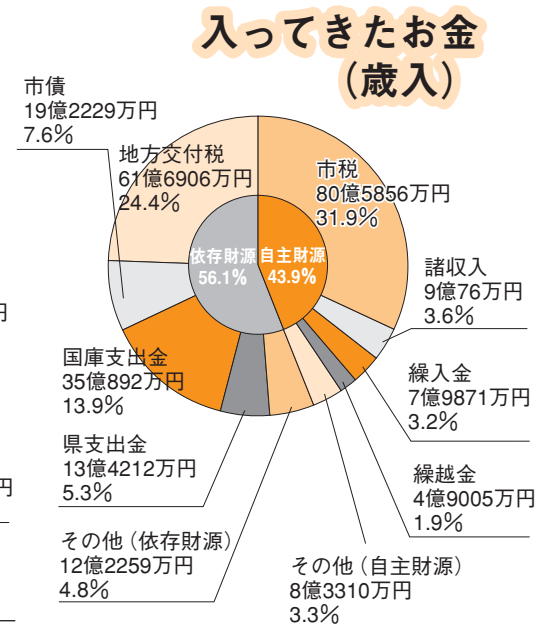
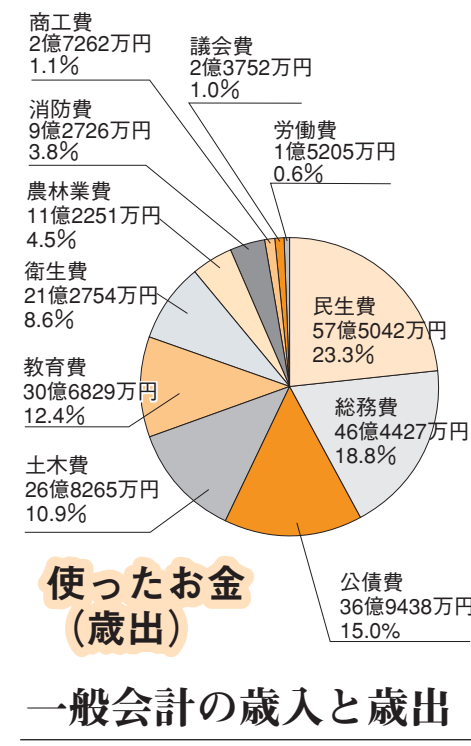


◆各会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
●一般会計	252億4616万円	246億7951万円	5億6665万円
●特別会計			
国民健康保険	59億7777万円	58億6082万円	1億1695万円
老人保健	1億8313万円	4947万円	1億3366万円
後期高齢者医療	5億9246万円	5億8549万円	697万円
介護保険	41億7648万円	40億9999万円	7649万円
農業集落排水事業費	4億8511万円	4億8507万円	4万円
国民宿舎事業費	7億5297万円	7億5204万円	93万円
総社駅南地区土地区画整理事業費	7億6845万円	7億3247万円	3598万円
公共下水道事業費	26億1223万円	26億985万円	238万円
合計	155億4860万円	151億7520万円	3億7340万円
●公営企業会計			
水道事業	10億3183万円	10億1644万円	1539万円
工業用水道事業	5078万円	3301万円	1777万円
合計	10億8261万円	10億4945万円	3316万円

公共下水道事業費特別会計の歳出は、井尻野地区や日羽地区への汚水管の埋設工事費、総社下水処理場の施設整備費などです。農業集落排水事業費特別会計では、山田地区への汚

水管の埋設や中継ポンプなどの整備が主なものです。国民宿舎事業費特別会計はサンロード吉備路の運営費で、歳入の内約7億円が営業収入です。



一般会計では、入ってきたお金(歳入)が252億4616万円。使ったお金(歳出)が246億7951万円。平成21年度内に完了しなかった事業の財源1億4536万円を平成22年度

平成21年度 一般会計での主な事業



■市道の改修や修理、舗装と河川の改良 (写真④) 7億1459万円

■清音駅の自由通路と東側の整備 1億1140万円

■常盤公園の整備 1億5482万円

■小学1年のグッドスタートや特別支援教育支援員などの教員の配置 1億1722万円

■常盤小学校の校舎増築 1億2241万円

■清音小学校の耐震補強 (写真⑦) 3679万円

■そうじゃ吉備路マラソンの開催経費 (写真⑥) 1500万円

■市スポーツセンターをはじめとした体育施設の管理委託 9773万円

※1万円未満の額がある場合、切り上げて表示しています。



■夜間の急病診療の運営委託 (写真⑤) 569万円

■吉備路クリーンセンターなどの運営への負担金 9億2207万円

■ごみ収集の委託 1億7828万円

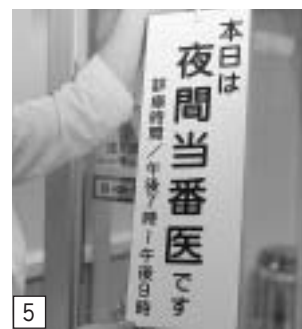
■学校図書データのデータ化や固定資産税課税台帳の電子化など16事業で緊急雇用事業 8916万円

■集落営農への運営補助 (写真③) や有機栽培の推進 1484万円

■学校給食で使う農作物を市内で有機栽培する生産者への補てん 572万円

■総社観光プロジェクトの経費 176万円

■農道の修理や改良と、ため池や送水管の改修 2億1447万円



■ソウジャ ブラジリアンデイの開催 (写真①) 395万円

■総合計画後期基本計画の策定経費 210万円

■ガードレールやカーブミラーなどの交通安全施設の整備 4059万円

■後期高齢者医療広域連合への負担金 5億4661万円

■障がい福祉サービスの給付や地域活動支援センターの委託など、障がい者の自立支援 5億6659万円

■中央保育所と私立保育園の運営委託と、休日保育や延長保育など実施の助成 10億3345万円

■学童保育の運営委託 (写真②) 7707万円

■小学6年生終了までの医療費の無料化 2億4313万円



に繰り越し、実質4億2129万円の黒字です。平成20年度と比べ、景気の低迷から市税が約5億9000万円減少。また、入ってきたお金のなかには、繰入金があります。昨年よ

り3300万円ほど少ないものの、8億円近くにはのぼります。これは、市の貯金にあたる財政調整基金などを取り崩して、財源を確保している状況です。借入金の償還額である公

債費は約37億円。平成20年度決算より約3億円増え、使ったお金の約15%を占めています。これらの数字はいずれも、財政運営の厳しさを示すものです。